

菊は音読み？訓読み？

秋に咲く菊は、日本原産の花だと思われがちだが、実は中国から渡ってきたもの。そのため、菊の読みは音読みだ。菊の他に、音読みを訓読みと勘違いしそうな漢字に、絵（エ）、象（ゾウ）、鉄（テツ）、凶（ゾ）、地（ヂ）などがある。

めあて 熟語の読み方 重箱読み 湯桶読み」を理解する 教科書 P 105

漢字二字の熟語には、「憂愁」のように上の漢字も下の漢字も音で読むもの、または、「星空」のように上の漢字も下の漢字も訓で読むものが多い。しかし、なかには、次のように音読みでも訓読みでも読むことができる漢字もある。

- ・草原 (ソウゲン) ・くさはら ()
- ・年月 (ネンゲツ) ・としつき ()
- ・牧場 (ボクジヨウ) ・まきば ()

また、音と訓を組み合わせて読む熟語もある。

(ジユウばこ)

重箱読み ↓	音読み	+	訓読み
(ゆ トウ)			
湯桶読み ↓	訓読み	+	音読み



1 次のA・Bからそれぞれ一つの漢字を選んで、六つの熟語を作ろう。

- A 花 仙 貝 措 墮 峡
B 人 殻 置 道 谷 落

- 仙人 () (貝殻) () (墮落) () (峡谷) () (花道) () (措置) ()

2 次の——線の熟語に読み仮名をつけよう。また、重箱読み【じ】か、湯桶読み【ゆ】か答えなさい。

- 例 手紙の消印は昨日のものだ。 読み (けしイン) () 【ゆ】
- ① 台所には、陶器のお皿が並んでいる。 読み (ダイどころ) () 【じ】
 - ② 新聞の夕刊に、飛行機の墜落事故の記事が載っていた。 読み (ゆうカン) () 【ゆ】
 - ③ この場所に、紡績工場があった。 読み (ばシヨ) () 【ゆ】
 - ④ この仕事は、わたしたちの汗と涙の結晶だ。 読み (シごと) () 【じ】
 - ⑤ 人の手本となるよう、怠惰な生活を慎む。 読み (てホン) () 【ゆ】
 - ⑥ 彼は役場の仕事を辞めた。 読み (ヤクば) () 【じ】
 - ⑦ 手帳にしおりを挟む。 読み (てチョウ) () 【ゆ】
 - ⑧ 天気が悪かったので、雨具を持って外出した。 読み (あまグ) () 【ゆ】
 - ⑨ これは、本物のダイヤモンドだ。 読み (ホンもの) () 【じ】
 - ⑩ 犬と猿は相性が悪いといわれる。 読み (あいシヨウ) () 【ゆ】
 - ⑪ わずかな荷物を持って旅に出た。 読み (にモツ) () 【ゆ】
 - ⑫ 祖父は毎朝、謡曲の練習をしている。 読み (マイあさ) () 【じ】
 - ⑬ 天窓の辺りに蚊が群れている。 読み (テンまど) () 【じ】

*自己評価 ①何をしたか ②わかったこと ③ついた力 について振り返りを書こう。

菊は音読み？訓読み？

秋に咲く菊は、日本原産の花だと思われがちだが、実は中国から渡ってきたもの。そのため、菊の読みは音読みだ。菊の他に、音読みを訓読みと勘違いしそうな漢字に、絵（エ）、象（ゾウ）、鉄（テツ）、凶（ゾウ）、地（ヂ）などがある。